谷川岳の慰霊祭

木野　晋良

登山に明け暮れていたころ、１年生部員のＩ君が先輩部員に誘われて挑戦した秋冷の谷川岳・一の倉沢で遭難死するという痛ましい事故が発生したのがちょうど５０年前のことでした。当時２年生部員だった私が発案して慰霊祭をしようと言うことになって、この１０月１５日当時の現役部員を中心に１９名が集まって慰霊祭を行いました。土合駅とマチガ沢の中ほどに立派な慰霊塔が建っており、ここで献花し線香を焚いて山の歌を 2 曲ばかり歌って簡単ですが慰霊祭としました。

谷川岳は今や観光地と化して天神平はスキー場となり往復２０００円で運んでくれるし、土合駅からの林道は簡易舗装されて一の倉沢出合いまでドライブ出来るという有様でソーラパネル付の立派なトイレまで有るという変わりよう。聞いてはいたがただただ吃驚するばかりでした。それにしても一の倉沢の悪壁ぶりはいまも変わることなくかえって凄味を増しているように見えるのは年取った所為でしょうか。圧倒されてしまいました。今でも休日などはポピュラールートでは2、3パーティの待ちが出来るということでした。

翌 16 日は午前中にロープウエーで天神平へ上り、快晴の谷川岳山頂を遠望し清水峠から法師温泉へ至る縦走路を見ながら寒さで震え上がって泣いた新入部員歓迎（イジメ）合宿を思い出してしまいました。

2008/10/23　木野晋良